

放課後子ども教室に関するアンケート調査【スタッフ用】

◆それぞれの質問について、枠の中からあてはまるものに○をつけてください。

【質問1】 あなたの年齢について、教えてください。

1. 20～30代 2. 40～50代 3. 60～70代 4. 80代以上

【質問2】 あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 2. 女性

【質問3】 あなたの住んでいる地区はどこですか。

1. 猪苗代 2. 翁島 3. 千里 4. 月輪 5. 長瀬 6. 吾妻 7. その他

【質問4】 放課後子ども教室に関わっていただいた中で、次の7項目についてどのように感じていますか。一番近いと思う番号に○をつけてください。

	とても思う	思わない
1. 自分自身も楽しく活動している	5 — 4 — 3 — 2 — 1	
2. 活動を通していろいろ学ぶ機会が増えた	5 — 4 — 3 — 2 — 1	
3. 自分の趣味特技を生かすことができている	5 — 4 — 3 — 2 — 1	
4. 子ども達から元気をもらっている	5 — 4 — 3 — 2 — 1	
5. 放課後子ども教室の活動に満足している	5 — 4 — 3 — 2 — 1	
6. 子ども達やいろいろな人と関わっている	5 — 4 — 3 — 2 — 1	
7. 放課後子ども教室は有意義な活動である	5 — 4 — 3 — 2 — 1	

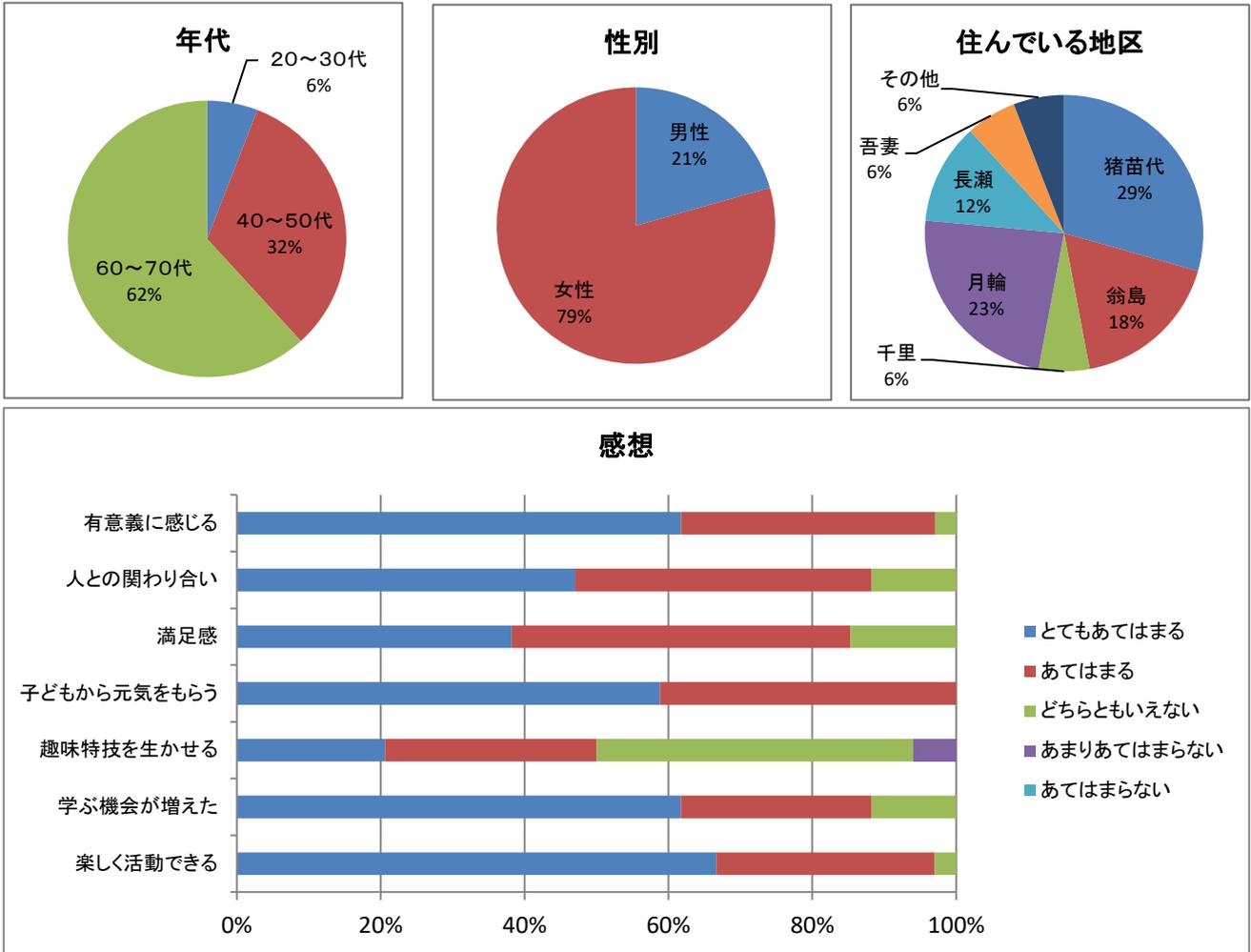
【質問5】 放課後子ども教室に参加した子ども達の様子はいかがでしたか。また、何か良い変化は見られましたか。

【質問6】 放課後子ども教室に参加したことによって、あなた自身の気持ちや暮らし方など何か良い変化は見られましたか。

【質問7】 放課後子ども教室が更に充実するために、必要なことや大切なことは何だと思えますか。

★アンケートにご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒で郵送してください。

アンケート集計結果【スタッフ】



子どもたちについて

- ・スポーツ指導者として子どもたちの上達が早く、特性を引き出すことが出来た。個人の特性をさらに生かしてあげたいと思う。
- ・子供達はとても元気にいきいきと活動している。また、低学年の子の面倒をみるなどの様子が見られた。
- ・私は運動でお世話になっています。動くことが苦手だった子供でも、他の子供達（他の学年）と一緒に活動することで、笑顔になっていたりしているように思います。
- ・スタート直前は少し騒がしかったが、1、2年生ともに活動が進むにつれて、真剣かつ自主的に取り組む姿勢が見られた。また、最後まで飽きてしまった児童は見られず、あっという間に予定時間が過ぎてしまった。
- ・生き生きのびのびしていると感じる。
- ・意欲的に取り組んでいる姿をみてうれしく思います。
- ・いつも元気が良くて楽しいです。
- ・作業しながらもお互いに子供らしい会話があり、できないところを助け合っている姿が見られ、とってもよい雰囲気だったと思います。小学生の孫がいるので参考になっています。
- ・子供達が物作りとかスポーツなど喜んで参加してくれている。
- ・久しぶりに子どもたちと接し、元気もらいました。
- ・子どもたち皆が真剣に作業に取り組んでいた。仕上がった作品には一人一人の個性がありました。作業中でも相手を思い、助けあって作業していました。

- ・活動を通し児童間の思いやり、協調性、競争心、子どもらしさを発見出来て、興味を持って参加してくれたのが良かった。
- ・生き生きとした姿を見ることができました。
- ・活発な子ども達と接するのは楽しいですが、小学生児童と日頃接する機会がないので（孫もいないので）ついていけないこともあります。学校の授業とは違って、解放的になっているのではないかと思います。
- ・子ども教室で行った活動内容を児童クラブや自宅でも行ったり、家族にも教えたりしているとのこと。
- ・興味関心が持てる内容には集中して意欲的に取り組んでいたが、低学年の子などは途中で飽きてしまうことも多々あった。
- ・楽しそうに参加していて、普段経験できないことができることの喜びを感じているようだった。
- ・進んで活動に参加し、互いに助け合ったりする様子も見られました。
- ・校外で出会った際など、元気に声掛けをしてくれる子もいてうれしくなりました。
- ・積極的な子も消極的な子も参加しているので、良い事だなあと感じました。子供達はどんな事にも興味があるのだなあと感じました。
- ・全学年対象参加での高学年の児童のグループをまとめるリーダーシップがすごい。素直な自己表現と集中力の強さが見られたように思います。
- ・活発な行動で毎回楽しく参加している。
- ・子どもによって得意・不得意があると思いますが、最後まであきらめずに参加して、次はどんなことをするのかと楽しみにしてくれています。
- ・教室以外（街の中）で会った時に挨拶をしてくれる子ども達が増えました。
- ・楽しそうでした。高学年の子が低学年の子の手助けをしていました。
- ・僕これ知ってる！私分かるよ！と参加に意慾を感じられた。全員参加型ゲームはもっとやりたいとみんな楽しく活動していた。
- ・毎回参加する子どもが同じせいか、声かけも多くなりました。
- ・最初、落ち着かなかった子どもも回を重ねる度に、話をよく聞けるようになり成長がみられるようです。
- ・会場に入室前から（受付前から）わくわく感、期待感が伝わってくる程の表情でした。
- ・変化という中に含まれるかわかりませんが、6年生女子が参加前半不安な表情でしたが、終了後は笑顔で友人と会話していました。
- ・昨年から続けて接した子どもが、とても成長していることに驚いています。
- ・楽しそうな会話を耳にしている。
- ・友だちに聞いたり、教えたりしている姿が見られ微笑ましい。
- ・学校外で会った時もあいさつをしてくれる。
- ・活動中に何げない日常の出来事をお話ししてくれるのはうれしい。
- ・たのしいこと、興味のあることはいつまでもやっている。ただし、あきるのものはやい。
- ・子ども同士のチームワーク、お互いに協力して作ったり、行動したりしていた。
- ・子ども達の想像力、ひらめきはすごいなと思いました。
- ・初めは緊張していたのか静かでしたが、実技が始まると楽しくやっていたのではないかと思います。
- ・やはり小さい学年の子は興味が薄れると、集中力がなくなるようです。3年生は落ち着いて聞いてくれたようです。一人一人見ているときりがないので、どんどん進めていくとなんとかついてくれるのかもしれない。

自身について

- ・指導法、内容を子ども達から学ぶ事も多く、新たな発見があった。更に充実したプログラムを提供したい。
- ・わが子が卒業してから小学校に行く機会がなかったが地域の子供達と顔見知りになり会話をし、それが保護者の方にも広がり地域をみんなで支えることが嬉しく思う。
- ・普段は大人の方に接しているのですが、この位で動けばいいのかなと動いても、子ども達のいきおいが想像以上なので思いきり動いています。
- ・私と児童たちとの年齢差が非常に大きく、最初はスムーズな活動が出来るかと心配していたが、児童たちの積極的な参加の姿を見て、自分の活動に自信が持てました。
- ・多様なお子さん達と関わることで、子どもに対する新たな発見がある。
- ・特に変化はありませんが、今後も機会があれば続けたいと思います。
- ・子ども達の顔を見るのが楽しみです。
- ・同居孫ではないですが、週末はほぼ一緒に過ごすので、子ども同士の会話・示す興味などが参考になっています。
- ・このお手伝いの機会を得られた事に感謝です。
- ・何年か参加しているうちに顔を覚えてくれている。
- ・退職により今まで家にいたため、気持ちが明るくなったようです。
- ・子ども達の目線で物事を考える事が出来るようになった。
- ・年齢の違う人と知り合うことが出来た。
- ・児童（学校）との繋がり、地域の方との交流、指導員からの元気・発見を常に頂けて、元気をもらっています。
- ・子どもから元気をもらいました。また、子どもの気持ちを知ることも出来ました。
- ・日頃小学生と接する機会が少ないので、児童の活発さや、言動に感心したり、楽しんだり出来ています。
- ・日々の生活の中で、「次回はどんな内容にするか」考えたり、「これは子ども達好きそうだな」など、自分自身も新たなことに興味関心を持てるようになった。
- ・子ども達に何かしてあげられることはないか生活の中で探すようになった。
- ・小学生と触れあう機会があることで、元気をもらえます。
- ・家の中にいる時間が長いのでつい運動不足になってしまっていて、子ども教室に行くと反省させられて、なるべく体を動かすよう心掛けています。
- ・新鮮な気持ちを子ども達からもらう事が出来ました。
- ・参加するにあたり、事前に予習して覚えたりする事があり、自分自身もとても勉強になります。
- ・今年度は新型コロナ感染対策をとることを考えなければいけなかったのが戸惑いましたが、子ども達の笑顔に救われました。感染症対策をどこまですれば良いのか迷います。
- ・気持ちが若くなった。
- ・子ども達の取り組みが励みになり元気をもらった。
- ・子ども達を見ているだけで元気がもらえます。
- ・自分自身の気持ちや暮らし方の変化はあまり見られませんでした。子ども達と話したり、一緒に活動したりすると、元気をもらえると感じます。かわいいなと思います。（改めて、自分が携わる虐待防止活動を今までより大切と感じられた点が良い点）
- ・ほとんど子ども達と接することがないため、とても嬉しいです。
- ・今の子ども達に接し、勉強させてもらっています。

- ・自分自身のネットワークが広がった。
- ・新しいこと、楽しいことを探すようになった。
- ・私自身も楽しく参加させていただきました。
- ・お花のある生活を身近に感じてもらえたのではないかと思います。
- ・小学生の子供達と接するのが久しぶりなので、子供達ってこんな風を感じるのかがわかりました。猪苗代の子供は町で会うと挨拶をしてくれる子も多くいます。これからはもっと積極的にあいさつしたいです。

放課後子ども教室がさらに充実するために、必要なことや大切なことは何だと思うか

- ・参加数が多い時の用具確保が難しいことがあり、種目の変更等がある。
- ・行う内容等みんなで話し合ったり、子ども達の行動や言葉を受け止めたりしながら、今まで同様に過ごしていければと思います。
- ・今のコロナ禍の中ではいろいろな事ができないと思います。が、大人も子どもも運動不足になりがちなので、手があいている大人の方（親御さん・地域の方）も参加できるものができれば良いと思います。
- ・児童たちが、主体的に活動する内容を設定することが大切です。つまり、一方通行的なものでなく、自分で触れて体験出来る活動により、興味関心を高め、さらに活動への参加意欲と成果が期待出来るものと思います。
- ・学校の授業や家庭ではなかなか体験できない活動を計画するために、アイデアを出し合うこと。
- ・同じような活動を一緒にやってくれる方々が増えればよいと思います。
- ・ちょっと難しいですが、今のままで良いと思います。
- ・今のところお手伝い回数が少ないので考えつきませんが、企画の内容・準備をされている方々に尊敬と感謝です。
- ・未来ある子ども達を大切にしたいです。宝です。
- ・子ども達がやってみたい物作りとか、コーディネーターさんに伝えられたらいいと思います。
- ・子ども達が楽しんで、またやりたいと思うことなど。
- ・子ども達は「物づくり」に興味を持っている子が多いようですので、身近な物を使っての「物づくり」体験を取り入れたら良いのではと思います。
- ・コロナ禍、安心・安全に活動出来るようになること。
- ・活動を通し、地域の方と共に、児童への見守り共働が大切だと思います。
- ・子ども達と温かく接することだと思います。
- ・消極的な子どもさんもおられるので、今まで以上に配慮していくことが大切ではないかと思います。
- ・もっと子ども達が興味関心を持てるような活動内容を考える。
- ・地域との交流、猪苗代ならではの体験がさらに推進されるといいと思います。
- ・継続して取り組めるような活動があれば良いかなと思います。（1回毎の活動も、様々な経験が出来ていいのですが）
- ・作品作りは、最後まで仕上げる事が大切だと思います。
- ・バリエーションにとんだスケジュール。（思いきり発散する・集中できる場・集団と個人等）
- ・子ども達が興味を持てる活動。
- ・学校の授業では学ぶ事が出来ないような事を、地域の方の協力を得ながら活動できたらと思います。
- ・地域の方々の協力と、地域の魅力を発見し、勉強し伝えていくこと（体験していくこと）。

- ・地元の企業の方々にも参加してもらい、将来の夢に近づけるよう目的を持たせることもあってよいと思う。
- ・地域の方の協力。
- ・子どもが子どもらしく、安心できる居場所・活動。
- ・親子共々が忙しい時代。話を聞いたり、子ども達が伸び伸びしたり出来ることが大切な事だと感じます。
- ・子ども達の興味が持てるような内容（実験・物づくり）を取り組めたらと思います。意外と低学年でも参加して楽しめていたようです。
- ・（コロナで難しいですが）年齢問わずたくさんの人々と交流することであると思います。
- ・現在でも子ども達の安全にもよく行き届いていると思いますが、今後も。
- ・各所やたくさんの方々との連携。
- ・体験して終わりではなく、そこからどう次に繋げるか、または、良かったものをまたやるなど、スキルアップや継続も考えてみては。
- ・子ども達は何事に対しても本気なので、私達もやる気になるんでしょうね。
- ・家庭ではあまり経験出来ないような企画。
- ・季節の行事や猪苗代の昔の生活を知ってもらう。
- ・もっと子ども達が参加しやすいように、学校の先生なども参加してもらおうと良いのではないのでしょうか。
- ・いろいろな事を学べるのは良いと思いますので続けていただきたい。
- ・学校が終わってから、同級生だけでなく、上や下の子と遊んだり、同じ事をしたりすること。小さい子の面倒を見たり、見られたりすることも良いと思います。